

- 凡例
- : 医療系廃棄物が分布する可能性が低い地点
  - : 医療系廃棄物を確認した地点
  - : パーク・焼却灰主体廃棄物分布範囲 (未調査区間含む)
  - : 想定医療系廃棄物分布範囲 (主にRDF様物・焼却灰)
  - - - : 既往高密度電気探査測線
  - : 想定グリッド線 (B・G測線を基準)

P-M1~18 : 医療系廃棄物調査地点  
 P-W1~4 : 表層廃棄物調査地点

ア-12 孔周辺

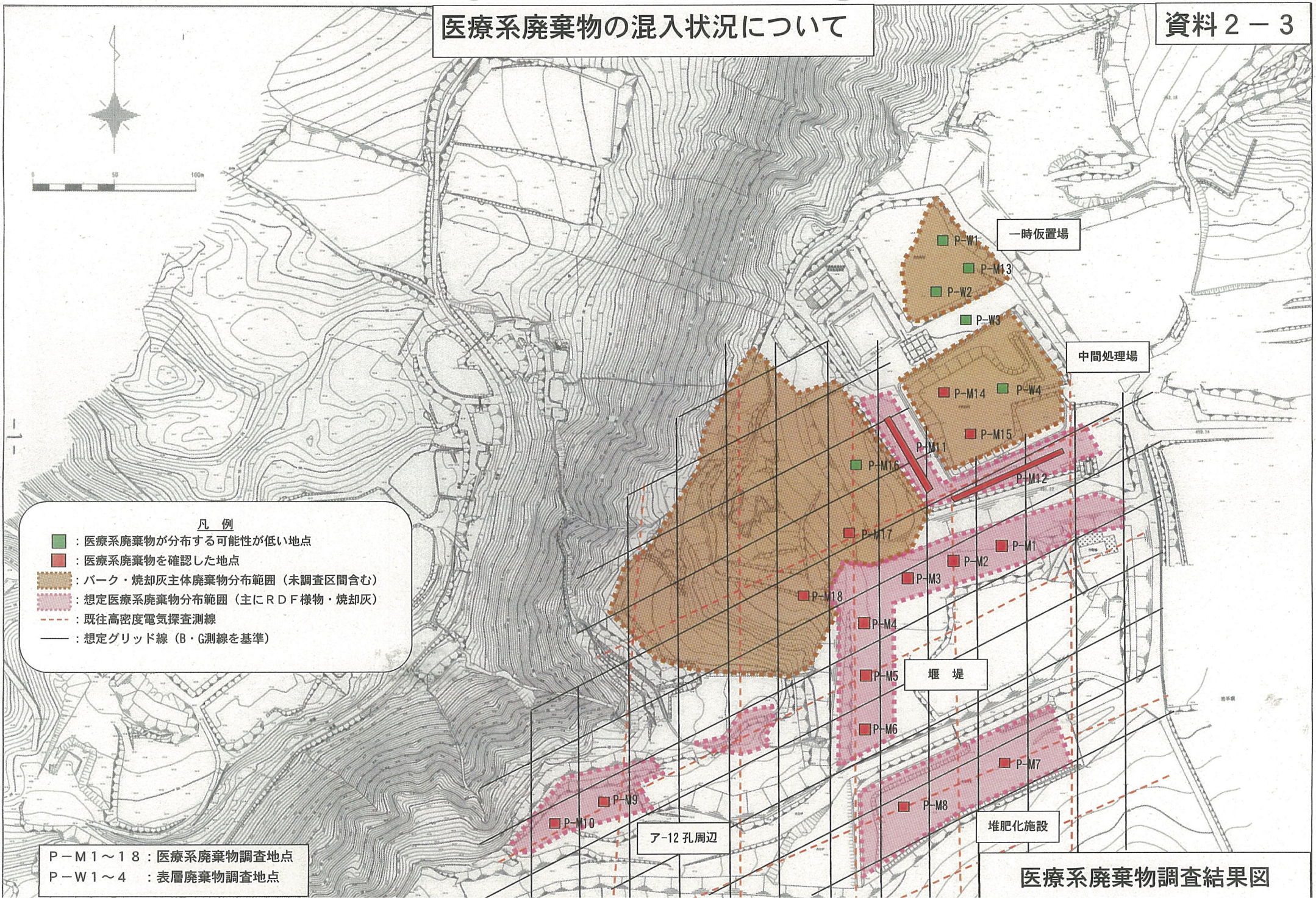
堰堤

堆肥化施設

一時仮置場

中間処理場

医療系廃棄物調査結果図



1. 医療系廃棄物を含めた特管相当廃棄物の総量変化（赤字は医療系廃棄物含有廃棄物）

【医療系廃棄物調査前】

廃棄物区分	推定廃棄物量(万m <sup>3</sup> )							
	廃棄物	有害廃棄物(土壤環境基準値超過相当廃棄物)						その他の 廃棄物
		優先的に 撤去すべき 廃棄物	撤去又は除去すべき廃棄物					
			特管相当 廃棄物	DXN類基 準値超過 相当廃棄 物	重金属類基準値超 過相当廃棄物		VOC基準 値超過相 当廃棄物	
				(鉛)	(ふっ素) (ほう素)			
パーク堆肥主体	18.3	10.2	7.0			3.0	0.2	8.1
焼却灰主体	26.2	25.3	18.0	1.3		3.0	3.0	0.9
RDF様物主体	5.5	5.5			5.5			
汚泥主体	7.4	3.4	1.4				2.0	4.0
一時仮置き場	3.3	3.3	3.3					
旧中間処理施設	6.3	6.3	3.3	3.0				
合計	67.0	54.0	33.0	4.3	5.5	6.0	5.2	13.0



【医療系廃棄物調査後】

廃棄物区分	推定廃棄物量(万m <sup>3</sup> )							
	廃棄物	有害廃棄物(土壤環境基準値超過相当廃棄物)						その他の 廃棄物
		優先的に 撤去すべき 廃棄物	撤去又は除去すべき廃棄物					
			特管相当 廃棄物	DXN類基 準値超過 相当廃棄 物	重金属類基準値超 過相当廃棄物		VOC基準 値超過相 当廃棄物	
				(鉛)	(ふっ素) (ほう素)			
パーク堆肥主体	18.3	18.3	(0.05) 18.30					
焼却灰主体	26.2	26.2	(0.29) 26.20					
RDF様物主体	5.5	5.5	(0.03) 5.50					
汚泥主体	7.4	3.4	(0.00) 1.40				2.0	4.0
一時仮置き場	3.3	3.3	(0.00) 3.30					
旧中間処理施設	6.3	6.3	(0.02) 6.30					
合計	67.0	63.0	(0.39) 61.00	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0

※上段( )書きは医療系廃棄物量

## 2. 医療系廃棄物調査状況



写真1 重機掘削状況



写真2 医療系廃棄物選別状況  
(磁力・手選別)



写真3 RDF 様物層中の医療系廃棄物の塊



写真4 選別された医療系廃棄物

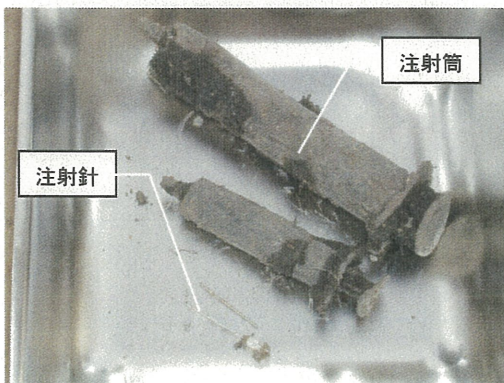


写真5 焼却灰混じり RDF 様物層  
中の医療系廃棄物



写真6 医療系廃棄物の埋積状況